

平成30年度第1回 JSC 運営点検会議 議事要旨

日時：平成30年6月6日（水） 13：30～15：30

場所：日本スポーツ振興センター本部事務所 大会議室1

出席者：柏木委員長、高橋委員長代理、小林委員、佐野委員、芝委員、中屋委員、三屋委員
大東理事長、小菅理事、望月理事、勝田理事、矢神理事 等

1. 委員長の互選等・JSC ホームページでの議事公表の確認

JSC 運営点検会議規程第3条第3項により委員長に柏木委員が、同第3条第5項により委員長代理に高橋委員が引き続き選任された。

JSC ホームページでの議事の公表は、これまでの議事録から議事要旨に変更することが確認された。

2. JSC 第4期経営方針について

資料1に基づき、大東理事長から今年度から5年間の第4期中期目標期間の経営方針を説明した。

3. 議事

(1) 平成29年度内部統制アクションプランの実施状況

資料2に基づき、小菅理事から平成29年度内部統制アクションプランの実施状況を報告した。

(2) 平成29年度 JSC 職員意識調査の分析結果

資料3に基づき、小菅理事からクロス集計等の分析結果を説明した。

[委員からの主な意見等 ○：委員 ▲：JSC]

- ：ハイパフォーマンスセンター（以下「HPC」）において、上司への相談のしやすさや、悪い情報があったときの上司への報告しやすさ（バッドニュースファースト）等が他の部署と比較して相対的に低い何か要因はあるか。
- ▲：HPC は8部署から構成され人数が相当多いこと、他部署と比べて契約職員等の割合が多いこと、研究職や専門職も多いことなども影響していると考えられる。
- ：環境が変わらずに同じ形で業務を継続するのであれば、それを前提として意識を高めて行動につながるようにしていってどうか。
- ：学校安全部の支所では規程を遵守するが、他部署への関心が少ない傾向が見られるので、他部署と比べて自分たちの業務に没頭しているように見える。支所の職員も災害共済給付の窓口として外部の方と接する機会が多いと思うので、外部への意識が高くなると良い。
- ：アンケートの実施の目的は、状況を把握することと、繰り返し行うことで内部統制等の重要性を職員に伝えていくことの2つがある。
- ：法科大学院の例では、アンケートを始めて3年程度で結果が変わらなくなる。組織の構造的な問題が影響しているものは、なかなか結果が変わらない。そのため、数年アンケートを取った後に少し休んで、その間に対策を検討するのも良い。また、他の独立行政法人で同様のアンケートを実施しているなら、それとの比較をするのも良い。
- ：アンケートの目的は現状の把握と意識付けの両方がある。当社ではセクハラ、パワハ

ラのアンケートを毎年実施し、初めはいろいろ事案があったが、段々と減ってきた。アンケート実施による意識付けの効果と考えている。

- ：意識付けのためにアンケートを継続する考え方は良い。アンケート結果をどう活用するかは、ミドルマネジメント（中間管理職）が上司から指示を受けて、部下にどう伝えていくかが肝要である。また、情報・国際部の結果について、基本理念やビジョン・コーポレートメッセージ等への意識は高い一方で、職場の風通しが良い回答割合が少ないことに関心を持った。

例えば、研究系のエキスパートと事務系のゼネラリストを分けて聞いたらどうか。ミドルマネジメントの育成に力を入れていく時期ではないか。

- ：HPCの母数が他部署と比べて多いので、HPC内の部署別で分析したらよい。また、自由記述欄にいくつか気になる記載があった。例えば、規程の遵守度の自由記述にある残業等の状況はどうか。もし、恒常的に起きているのであれば組織として問題である。

（3）第4期中期目標期間における運営点検会議の役割と議題案

資料4～7に基づき、小菅理事から説明した。

[委員からの主な意見等 ○：委員]

- ：法人の財務状況の話聞き、今年度は特に大変厳しいことがよく分かった。独立行政法人の仕組みは独特である。また、法人評価とは別の視点で、過労死やセクハラ、パワハラ等は、1件発覚するだけで組織を揺るがす大問題となる。このような事案が起きないようにすることが内部統制の観点から重要であり、ダメージとなる事案に対して、どのような対策を取っているかなど、内部統制の有効性を確認できるような議題を今年度か来年度あたりに入れてほしい。

- ：JSCが中期目標期間が終わる5年後に目標を達成できるように助言していきたい。あまりに高すぎる目標を掲げず、むしろ着実に目標を達成できるようにしていくことが重要である。他法人の例では、意欲的に高い目標を立てたものの結果的に達成できず、評価が低くなったケースもある。

- ：法人の実態を把握した方がより適切な助言ができるので、監査結果、懲戒処分の件数、内部通報の事案などについて例えば1年に1回など定期的にまとめた上でご説明してほしい。

（最後に、事務局から次回の会議は、10月頃を予定と説明）